

各位

株式会社 りそなホールディングス  
株式会社 ジェーシービー  
株式会社 小田原機器

## 新たなバス乗車体験を実現する UWB 決済実用化に向けた協業覚書の締結について ～バス乗車体験向上とバスオペレーションの効率化を目指す～

株式会社りそなホールディングス(本社:東京都江東区、取締役兼代表執行役社長兼グループ CEO:南 昌宏、以下「りそなグループ」)、株式会社ジェーシービー(本社:東京都港区、代表取締役会長兼執行役員社長:二重 孝好、以下「JCB」)、株式会社小田原機器(本社:神奈川県小田原市、代表取締役社長:津川 直樹、以下「小田原機器」)は、バスの新たな乗車体験を実現する UWB<sup>※1</sup>(Ultra Wide Band)決済の実用化に向けて、本日、「UWB 決済に関する協業覚書」を締結しました。

本件は、2026年3月4日(水)にりそなグループと JCB が「基本合意書」を締結した UWB 決済の本格的実用化に向けた取り組みの1つに、国内の路線バス向け運賃収受機器の製造・販売で高いシェアをもつ小田原機器も参画するものです。

UWB 決済とは、Wi-Fi 等と同程度の距離で通信が可能な次世代無線通信技術の UWB 通信を用いた決済です。決済端末にかぎず NFC<sup>※2</sup>やスマートフォン等で画面の読み取りが必要な二次元コード決済とは異なり、数十メートルの距離があってもデバイスの正確な位置の特定や高速通信が可能であることから、決済や要望の伝達におけるユーザーおよび事業者の課題を解決する決済手段として注目されています。

※1 超広帯域無線通信技術の略称で、非常に広い周波数帯域を使用する無線通信技術。短時間のパルス信号を用いて高精度な位置測位や近距離での高速通信を実現。主な特徴としては「広い帯域幅」、「高精度な位置測位」、「低消費電力」

※2 13.56MHzの周波数帯を使用した近距離無線通信技術で、主に数センチから最大10センチ程度の距離でデータ通信が可能

### 背景・目的

近年、改札や店舗決済等での UWB 通信技術活用への期待が高まっていますが、改札やレジを持たないバス・路面電車といった公共交通向けのソリューションは十分に整備されていません。また、バス業界では運転手不足や高齢化が進むなか、様々な決済への対応や運転業務以外の乗客サポート等が現場負担の増加や混雑時の定時運行への影響につながるという課題もあります。

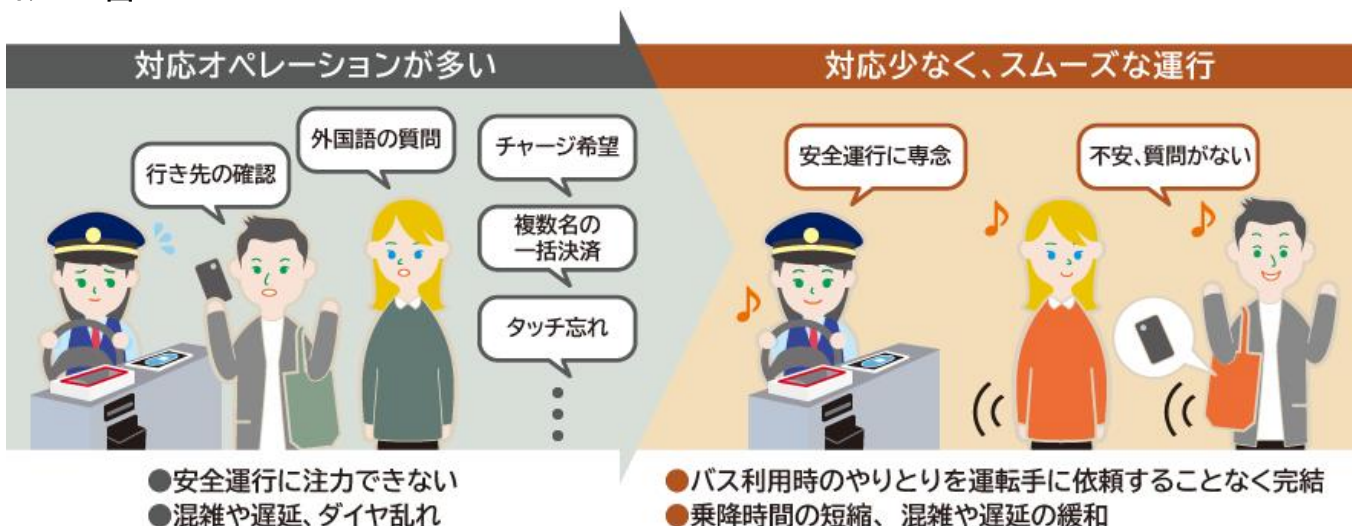
こうしたバスや路面電車等の課題解決およびお客さまのバス乗車体験向上のため、3社は UWB 決済の実用化に向けたプロジェクトをバス事業者とともに開始し、2026年度からバス向け決済<sup>※3</sup>および技術実証を開始し、2028年度の本格的な実用化を目指します。加えて、既存インフラに適応しやすいソリューション構築をはじめ、鉄道や店舗との連携を視野に入れたシームレスなサービスの実現を目指します。

※3 バスの乗降における認証を含む

### 今後のスケジュール

2026年度	技術実証を開始
2027年度	小規模商用化
2028年度	本格的な実用化

### イメージ図



## 期待される効果

### ・利用者

正確な位置特定と高速通信が可能な UWB 通信を活用することで、乗降車時に決済端末から離れていてもスマートフォン等を取り出さずに支払いができるハンズフリー決済等の新しい体験が可能になります。さらに、乗車履歴データの活用により利用者に合わせた広告やクーポン配信、ポイント付与、バスの利用方法、運行情報等の案内をスマートフォンやバス内のスマートディスプレイ等を通じて受けることができます。

### ・バス事業者

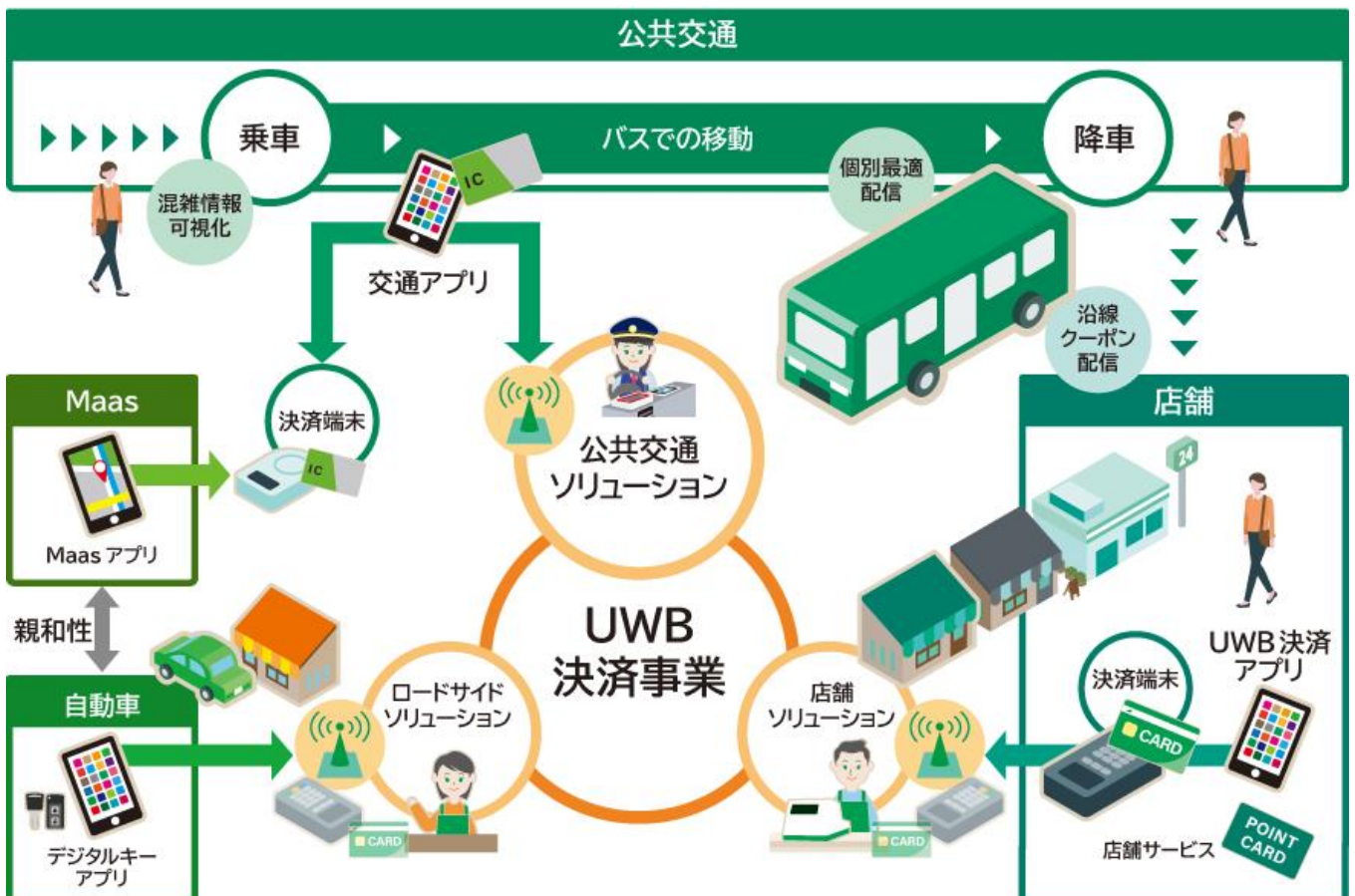
UWB 通信により運転手が乗降時の決済対応や利用者からの問い合わせ等の対応から解放されることで、運転業務に専念することが可能になり、安全性向上や定時運行につながります。また、スマートフォンの正確な位置情報を活用することでバス内の混雑状況の把握が可能となり、停留所にて待つ利用者に対して混雑量の少ないバスを案内する等、混雑回避に向けた利用者の行動変容を促すことも可能になります。

## 今後の展開

この度の協業を機に、小田原機器が UWB 通信技術の標準化を行う FiRa Consortium<sup>※4</sup> に参画し、3 社は FiRa Consortium での活動を通じたバス決済用途での技術・体験の標準化を行うとともに、FiRa Consortium 参画ベンダー各社の支援を受けながら、技術実証を進めていきます。今後、りそなグループ・JCB・小田原機器は公共交通機関向けサービスの事業化に加え、日本および諸外国での幅広いパートナーとの協業により、多様な領域で UWB 決済を実現し、お客さまのさらなる体験向上を目指します。

※4 UWB 通信技術の安全な高精度測距および位置決定機能を活用し、人やデバイスに正確な位置認識を提供することで、私たちの環境との関わり方を変革することを目的とした会員主導の標準化団体。FiRa は、技術仕様と認証の開発を推進し、効果的な規制を提唱し、さらに UWB の幅広いユースケースを定義することで、この目的を実現する。UWB および FiRa Consortium の詳細については、<http://www.firaconsortium.org> に記載

## イメージ図



以上